

「第7波」急拡大防止に向けて

7月に入り、大雨と暑さという厳しい天候が続いている中、全国的な傾向と同様に、高山市でも、「かつてないほどの新型コロナウイルスの感染」が拡大しています。

なぜ、これだけの感染拡大につながっているのか？その理由は、「オミクロン株の亜系統であるBA5の拡大、ワクチン効果の低下」の2つが大きいと考えられます。そして、さらに、「エアコン使用などによる部屋の換気の低下」も加わっているのではないかと考えられています。

「正直、もう、新型コロナウイルスへの対応は疲れてしまっている」とお感じの方も多いのではないのでしょうか？私自身も、正直、「もう、疲れてしまった」と感じていますし、医療従事者の多くも同様に感じています。

しかし、ここで今一度、新型コロナウイルスとの向き合い方について、考えてみたいと思います。最近、「もう、新型コロナウイルスはただの風邪でしょ？軽症が多いし」という質問を受けることがあります。

確かに、新型コロナウイルスが広がり始めたころに比べ、今拡大している「オミクロン株」における重症度や死亡率は低下しているという報告があります。しかしながら、それでも、高齢者における死亡率は、インフルエンザのそれよりは高い傾向にあります。

また、現在、拡大しているオミクロン株のBA5の重症度については、未だ正確なデータが確認されていないというのが現状で、油断することができないと考えています。さらに、私自身が最も気になっている点は「後遺症」の存在です。

先日、後遺症の方の診療を続けている医師から、「後遺症は、少しずつ回復してくるようですが、有効な手立てがあまりなく、数か月から1年近く続く方もいるようで、本当につらそうです」という話を聞きました。また、自身が診療の最前線で対応し、自らが感染を経験した医師からは、「数日間の高熱と喉の痛み、体のだるさが続き、何もすることができず、とてもつらい思いをしました。先生も、油断せず注意してください」というアドバイスを受けました。

このような状況の中、医師である私としては、今の時点では、まだ、「コロナは、もう、ただの風邪です。だから、あまり心配しなくていい」ということはできないと考えています。

「新型コロナウイルスとどう向き合い、私たちの日常生活を維持していくのか？」

そして、「この夏、この感染の波にどう対応していくのか？」

私自身は、これまでの数年間のように、「新型コロナ感染対策をすべての中心に据えて対応していく時期」は、もう過ぎたのではないかと考えています。

しかし、一方で、「このウイルスの存在を感じながら、お一人お一人が、自身の健康を守り、日常生活を維持していくこと」が、今後も、継続して必要であると強く感じています。

市民の皆さんには、まず、現在の感染拡大の波が収まっていくように、改めてのご対応をお願いいたします。

この夏、熱中症の対応と新型コロナウイルスへの対応を同時に行う必要があります。そのためには、これまで続けてきた「マスクの使用、手洗い、3密を避ける」という新型コロナウイルスの基本的な対応を継続することとともに、暑さや湿度という熱中症の危険性を避けるために、「長時間の運動時や屋外で周囲に人がいない場合には、マスクをはずす」「適切な部屋の温度や湿度を保ちながら、換気対策を十分に行う」ということを合わせて注意していただきたいと思います。

また、3回目のワクチン接種が済んでいない方や4回目接種の対象となる方で、過去のワクチン接種にて特に支障のなかった方については、追加の接種のご検討をお願いいたします。

残念ながら、新型コロナウイルスとともに生活をしていく状況は、今後も続くと考えられます。その意味では、私たちが今まで経験してきた「風邪やインフルエンザなどのほかの感染症と同じく、常に、気を付ける」ことが求められています。

今、第7波を迎え、改めて、「日常の生活を維持するための新型コロナウイルスとの向き合い方」をお一人お一人が見直していただければと思います。

そして、最後に、少しでも「体調が普段と違う」と感じた方は、無理をすることなく、体を休め、医療機関での相談をしていただくことをお願いいたします。

既に、市内の医療機関の外来は、多くの患者さんで大変厳しい状況になっているところもあります。受診を検討される際には「事前の電話連絡」を必ず行い、医療機関の指示に従ってください。

私自身も含めて、「いつ、だれが感染してもおかしくない状況」であることは間違いありません。

感染しないことは大切ですが、感染してしまった場合には、適切な対応を行うことが、自身を守ることになります。

「新型コロナウイルス感染は、まだ、ただの風邪ではない」ということを、今、改めてお伝えできればと思います。ぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年7月20日

高山市国民健康保険朝日・高根診療所 川尻 宏昭